



(註) 1983年～1991年の試料は未分析

栃ノ木温泉については、蒸発残留物濃度・溶存イオン濃度ともに、1991年～2003年の観測中断の間に低下しており、温泉水が薄められた可能性がある。なお、栃ノ木温泉は、約10年前に移転しており、泉源は同一であるが、サンプルの採取場所が変わっている。

垂玉温泉については、1983年以前に比べて、塩化物イオン濃度がやや低下している。これらの変化の原因については、今後検討したい。